



りんご生産情報（4月ふれあい号）

令和3年4月5日
弘前西地区営農係

○管内では、各品種の発芽日が確認されております。平年より約10日早く推移しており、薬剤散布も平年より早い防除時期となりますので、剪定作業の遅れている場合は、早めに散布ルートを確保し散布が遅れないようにしましょう。

りんご生態

4月1日現在のりんごの生態は、発芽日が平場のふじで3月30日に確認しております。

	つがる	ジョナゴールド	王林	ふじ
中崎（平場）	3/30	3/29	3/28	3/30
住吉（中間）	3/30	3/29	3/29	3/30
弥生（山手）	4/1	3/31	3/31	4/1
りんご研究所	3/29	3/28	3/29	3/30

農薬散布

黒星病の飛散は、平年並みの気温で推移すると4月9日頃から降雨後に飛散する見込みです。本年は、気温が高く経過したため平場から山手までの生育差が2日と差がなくなっております。山手では散布遅れにならないように注意しましょう。

回	散布時期	対象病害虫	基準薬剤	倍数	収穫前日数	規格	1,000ℓ当たり
1	ふじの展葉 1週間後頃 (4/15頃) 300ℓ	モニリア病	マシン油乳剤 ダースバン DF ペフラン液剤	200倍 3,000倍 1,000倍	展葉期 45日 展葉期	20ℓ 167g 500ml	5ℓ 167g×2袋 500ml×2本
		腐らん病・黒星病					
		リンゴハダニ					
		ハマキムシ類					
		キンモンホソガ					
特散	4月下旬 (4/22頃) 300ℓ	黒星病特散	ペフラン液剤	1,000倍	展葉期	500ml	500ml×2本

●カイガラムシの発生が多い場合は、ふじの展葉1週間後頃に、マシン油と同時にアブロードFL（1,000倍）も加用しましょう。

降霜対策

降霜は、前日午後7時の気温が6℃以下で晴天無風の場合に危険性が高まります。生育ステージでは、展葉期で-2.2℃、花蕾着色期で-2.0℃の条件下で被害が出始めます（下図参照）。

生育ステージ								
安全限界温度	-3.5	-2.2	-2.2	-2.1	-2.0	-1.5	-1.5	-1.7

《対策》

・防霜ファンは始動温度を2℃に設定して下さい。昇温効果は1~2℃です。寒気を伴ったときや著しい低温のときは燃焼法を併用して下さい。

防霜資材	SS散布資材			
品名				
規格等	500g	1.1kg（液体）	10kg	1L
10a当たり 使用量	使用倍数 1,000倍 散布量 300L	使用倍数 333倍 散布量 300L	使用倍数 100倍 散布量 200~300L	使用倍数 1,000倍
特徴	農薬混用可	農薬混用可	マシン油以外の 農薬混用可	固着剤 ※霜ガード混用
価格	4,127円	2,083円	4,895円	1,705円